

第27回全国ヤングバレーボールクラブ男女優勝大会 岩手県大会 開催要項

【本大会は、以下の趣旨に基づき開会される大会です。】

公益財団法人日本バレーボール協会の定める「JAPANバレーボール宣言」・「JAPANバレーボールWAY」、「指導における倫理ガイドライン」を理解し、プレイヤーズセンターの理念に基づき活動を続けているチームのための大会です。

(大会開催の趣旨)

本大会は、1998年(平成10年)に第1回大会が大阪で開催され、現在まで25年にわたって、日本ヤングクラブバレーボール連盟の理念を基本とし、全国各地において、より多くの生徒等が参加できるバレーボール環境の整備を目的に運営してきた。本大会も、学校部活動を地域に移行していく過程で発生する、学校教育現場や地域での問題を解決するために、学校部活動等において、選手が望むバレーボール活動を十分に実施・継続することが困難な中、地域で年間を通して継続的に活動を行ってきた「心からバレーボールを愛するすべてのプレーヤー・チーム」の目標となる大会を目指す。そして、その中でも、参加を許可した選手・チームに対しては、我々に与えられた条件の中で最高のプレー環境を提供し、大会終了後は「もっとバレーボールがしたい!」と感じてもらえる大会としたい。また、本大会の開催を通じて、指導者資格(日本スポーツ協会公認資格)を有する、バレーボールを正しく指導できる指導者と公認審判員の増加を目指し、その方々には「生徒等」と「スポーツの素晴らしさ」との出会いの場を提供することを楽しみとし、「支えるスポーツ」として、国の施策でもある「スポーツ環境の地域移行化」の先導役となり、地域社会に貢献し、活躍していただくことを切に願う。

【公益財団法人日本バレーボール協会指導普及委員会の事業計画に基づく大会です。】

本大会に参加する「監督・コーチ」は、公益財団法人日本スポーツ協会が養成する有資格指導者[コーチ1以上]で構成することが必要です。また、本大会は相互審判で運営するため、スタッフの内1名以上は、審判有資格者で構成することを早期に実現します。

1. 主 催 岩手県バレーボール協会
2. 主 管 岩手県ヤングクラブバレーボール連盟 紫波町バレーボール協会
3. 公 式 球 男子:ミカサ(V300W) 女子:モルテン(V5M5000)
4. 開 催 期 間 2024年6月29日(土)
5. 会 場 紫波町総合体育館
6. 参 加 資 格 大会開催の趣旨に基づいて編成され、年間を通じて、週単位で継続的に活動しているヤングバレーボールクラブで、次の各項に掲げる要件をすべて満たすクラブチーム。
 - (1)大会運営について、主催者からのお願いや、大会独自のルールに協力することができるチーム。また、インターネットを通じて、情報のやりとりが可能なチーム。
日本ヤングクラブバレーボール連盟に有効に登録された地域クラブチーム。
※登録初年度は、本大会に出場できない。
 - (2)日本ヤングクラブバレーボール連盟に有効に登録された選手と相応の年齢のチームスタッフによって構成されたチームで、責任のとれる成人を代表者とするチーム。
ただし、選手の年齢基準は、2024年4月2日現在とする。
※U14(14歳以下)、U19(19歳以下:主として15歳以上で構成されているチーム)
 - (3)**選手募集要項があり、当該クラブでの活動を希望する選手が所属可能なクラブチーム。**
学校の部活動単独チーム、特定の選手のみが所属できるチーム【選抜チームや特定の中学校のみの合併チーム】及び**明らかに学校部活動単独チームに近いチーム**の参加は不可とする。
 - (4)同一カテゴリーにおいて、同一クラブの複数参加は不可とする。
 - (5)**監督及びコーチは、公益財団法人日本スポーツ協会公認の指導者資格(コーチ1・コーチ2、コーチ3・コーチ4)のいずれかを有し、公益財団法人日本バレーボール協会に有効に登録されたもの者とする。**
 - (6)相互審判を行うことができるチームであること。**1名以上が審判有資格者であることを強く推奨。**

7. 参加定員 U14 男子・女子 (U14 男子 12 チーム・U14 女子 12 チームを予定)
8. 競技規則 現行の公益財団法人日本バレーボール協会 6 人制競技規則による。
また、参加チーム数により本大会独自のルールを採用する場合があります、詳細については、レフェリークリニック・代表者会議で通知する。
リベロは、チームの他の選手と**対照的な色**のユニフォームを着用すること。
ピブスの着用は認めない。(試合中におけるリベロ傷害時の特例を除く)
9. 競技方法 (1) 競技は、男女別に次の種別で行う。
① U-14 (14 歳以下)
(2) 各種別とも参加チーム数により競技方法を定め、事前にホームページで通知する。
(3) 抽選は、当日の代表者会議で行う。
10. チーム構成 (1) 1 チームの人数は、部長・監督・コーチ・マネージャー・トレーナー・ドクター各 1 名と選手 18 名の計 24 名以内とし、**選手 18 名のベンチ入りを認める。ただし、リベロは最大 2 名までとする。**
(2) 主催者が認めた場合を除き、競技中、コート上の 6 人の選手は、同一学校の選手のみとなることは認めない。もし、違反が確認された場合、その時点で没収試合とする。
(3) 審判員 (有資格者が望ましい) を帯同すること (コーチングスタッフで行うこと)。
※早期に日本バレーボール協会公認審判員【いずれかの資格】とします。ご準備下さい。
帯同審判員はレフェリークリニックに参加すること。※開催する場合
(4) スタッフ 1 名は、1 チーム、1 役職とする。同チームまたは別チームのスタッフとして兼任はできない。【同チームの部長兼監督・別チームの部長の兼任等】
(5) **本予選会を経て上位大会 (全国大会) へ出場する際は、予選会で登録した 6 ~ 18 名の選手を変更する事は出来ない。予選会登録選手で上位大会への申込みを行う事。**
11. 表彰 男女とも 1 位 ~ 3 位までを表彰する。
12. 参加申込 JVAMRS より申し込むこと。
13. 申込締切 **6 月 12 日 (水)**
14. 参加料 15,000 円
15. 振込先 北日本銀行
流通センター支店
普通 7 0 3 8 4 4 4
岩手県ヤングクラブ連盟 事務局長 佐藤圭介
※必ずチーム名で振り込む事
16. 問合せ先 〒020-0846 岩手県盛岡市流通センター北 1-12-5
岩手県ヤングクラブバレーボール連盟 事務局長 佐藤圭介
info@wct.or.jp 080-3570-9042(携帯電話)



岩手県ヤングクラブバレーボール連盟

www.iycvf.jp